

北村メンタルヘルス学術振興財団

研究助成金

応募ガイドラインと研究計画書の書きかた

全体について

北村メンタルヘルス学術振興財団の助成は「研究アイデア・計画作成助成」、「研究助成」、「発表助成」3つのカテゴリーがあります。

研究アイデア・計画作成助成は、研究アイデア・研究の芽を実現可能な研究計画に落とし込むための教育の機会を提供します。具体的には、当財団の研修会の無料受講、およびその他の必要な研修受講のための費用助成を行います。奨学金形式（返済不要）の補助です。研究計画に関するスーパービジョンも提供します。アイデアはあるが具体策が分からない方むけの助成です。

研究助成は、既に具体的な研究計画が立案されているものに対し、その研究計画を実施するための助成を行います。当財団の助成目的に沿った研究計画を歓迎します。「研究アイデア・計画作成助成」を受けた方が次年度に継続してこちらを申請することも可能です。助成期間内に研究成果を得て国際誌に発表したいと考えている方は次の「発表助成」にご応募ください。

発表助成は、研究成果を国際誌に発表するための出版費用（外国語校正費、雑誌掲載費）を助成します。「研究アイデア・計画作成助成」を受けた方および「研究助成」を受けた方が継続してこちらを申請することも可能です。

すべて、計画書はA4、1頁30行、アルファベットはTimes New Romanとしてください。

冒頭に研究課題、応募者氏名、共同研究者氏名、所属機関名、カテゴリー分け（研究アイデア・計画作成助成、研究助成、発表助成）を明記してください。

いずれのカテゴリーの応募も、当財団の方向性に合っていることが必要です。財団ホームページで当財団の将来構想をご確認ください。

https://www.kitamura-foundation.org/images/aboutus/vison_220530.pdf

研究アイデア・計画作成助成

研究アイデア・計画作成助成は、研究アイデア・研究の芽を実現可能な研究計画に落とし込むための教育の機会を提供するものです。臨床のなかで得た疑問があるが、その次に何をすればよいか見当がつかないことはよくあることです。非常に注目する事例に遭遇し、いろいろ疑問が沸いてはくるが、何をどうすれば、自分の疑問が払拭できるか分からない状況です。研究するにも、どのような尺度を選べばよいかわから

ない、どのような研究デザインを組めばよいかわからない、得られたデータの適切な統計解析方法がわからない・・・など、(大学院の研究室での研究方法講義を受けていない)若手臨床家が困難を感じる際、大学、研究所、企業などの講座を受講する、あるいは個人的指導を仰ぐ必要がでてきます。研究アイデア・計画作成助成は、こうした時に利用できます。

応募の際は、何の研究をしたいかを明示し(具体的臨床体験をお書きいただくと分かりやすいです)、そのために必要な教育・研修の内容をお書きください。そして、教育・研修を受ける予定(希望)の大学、研究所、企業などの講座の具体的な名称とその詳細をお書きください。受講のために必要な受講料、指導料、交通費、宿泊費がここに含まれます。当財団の研修会の無料受講も含まれます。奨学金形式ですから、返済不要の補助です。アイデアはあるが具体策が分からない方むけの助成です。

研究助成

研究助成は、既に具体的な研究計画が立案されており、その研究計画を実施するための助成です。当財団の助成目的に沿った研究計画を歓迎します。従って、当財団の設立趣旨と方向性を、財団ホームページでご確認ください。当研究助成のテーマは「メンタルヘルスに関連していればなんでも可」という包括的なものではありません。

「研究アイデア・計画作成助成」を受けた方が次年以降に継続してこちらを申請することも可能です。この場合、その旨、明記してください。

研究計画書のスタイルは自由です。ただし、審査員にわかりやすく書く必要があります。研究は最後には論文となります。以下のような研究論文の見出しの順に、項目を立ててください。まだ実施されていないので、結果と考察は必要ありません。

はじめに

対象と方法

文献

はじめに

ここではその研究課題についてこれまで何がわかっていて、何が不明あるいは不確定なのかを、歴史的に振り返ります。当然、多くの先行研究を文献として引用します。そのうえで、研究の仮説(いわゆるリサーチクエスチョン)を明示します。各領域には、歴史を作ってきた先行研究があります(例:産後うつ病における Pitt, 1968)。忘れずに記載してください。また、引用文献が非常に多い場合は、impact factor の付いている雑誌に掲載された論文を優先してください。重要先行研究が引用されていないことは訴求力を弱めます。

Pitt, B. (1968). "Atypical" depression following childbirth. *British Journal of Psychiatry*, 114, 1325-1335.

なにが不明であるかの考察と研究の仮説設定には十分な整合性が必要です。さらに、

提案する研究の成果が今後の臨床水準の向上に資することを明示してください。単なる学問的興味のみでは、当財団の研究助成の対象にはなりません。いわゆる基礎研究は当財団助成の対象にはなりません。研究成果が臨床のどの部分の前進に貢献できるかを、わかりやすく解説してください。

デザインが治療的介入である研究の場合、その臨床像になぜ特定の介入を設定するのかについての理論的説明をしてください。心理療法には様々な手法があります（例：来談者中心療法、対人関係療法、力動的的精神療法、感情焦点療法、転移感情焦点療法、行動療法、認知療法、カップルセラピーや家族療法、Parent Infant Therapy など多数）。ここでは、提案する臨床像の心理的発生メカニズムに関する考察が、心理療法選択の基礎になります。綿密な理論的考察が必要です。自分のしたい介入を闇雲に行うたぐいの計画書では審査での好印象には結びつきません。

心理的介入に効果があっても、次の疑問はそのメカニズムです。X療法がY疾患を改善するというパラダイムだけでは、今後の研究の発展にはつながりません。例えば、某疾患に認知療法を行うのであれば、某疾患を有する者の特定の認知スタイルが改善することが症状の改善に先行するなどの仮説設定と、研究デザインが望まれます。

提案する介入が効を奏さない場合や、状態が悪化した場合に予定している対応方法について明記してください。これは多くの場合、倫理審査の際に指摘される点でしょう。提案する介入が効を奏さないあるいは状態が悪化した場合は、速やかに通常の治療を開始できる条件が必要とされます。

心理状態の発生要因を調査する場合、Yという変数がXという疾患を導く（原因となる）という単純な（20 世紀的）パラダイムは訴求力がありません。必ず、交絡変数 (confounder)、介在変数 (mediator)、調整変数 (moderator) を考慮した研究デザインを組んでください。交絡変数、介在変数、調整変数については以下を参照してください。過去 20 年ほどのメンタルヘルス領域の主要な研究は、いずれも交絡変数、介在変数、調整変数を含んだものです。これらの変数を入れる研究は必然的に共分散構造分析 (structural equation modelling: SEM) による統計解析が必要になります。原因の結果への影響力は SEM における基準変数（アウトカム指標）の重相関平方で求めます。オッズ比のみでは不十分です。

【書籍】北村俊則：臨床で働きながら研究をしよう：統計の裏技と SPSS の使い方。北村メンタルヘルス研究所，2013.

【研修会】北村メンタルヘルス学術振興財団：臨床で働きながら研究をしよう：統計の裏わざと SPSS の使い方

対象と方法：対象

提案する研究において収集を予定するケース数とその根拠を記載してください。Power analysis の結果を提示することは訴求力があります。Inclusion criteria だけでなく exclusion criteria を明記してください。

参加者の研究参加同意能力に疑問が発生しうる場合は、研究参加同意能力を評価します。

Appelbaum, P. S. and Grisso, T.: MacArthur Competency assessment Too for Clinical Re-search. 北村俊則, 北村總子 (監訳) 三澤史斉, 長谷部真歩 (共訳) 研究に同意する能力を測定する: 臨床研究者のためのガイドライン. 北村メンタルヘルス研究所, 東京, 2012.

人を対象とする研究であれば必ず所属施設の倫理審査委員会の承認を得て下さい。倫理審査委員会の承認がない研究は助成対象となりません。

対象と方法：測度

心理状態を測定する方法（測度）について、その名称（外国語が原盤であればアルファベット表記も）、概略（項目数、何件法か）、psychometric properties を文献に添えて記載してください。近年の著作権の考え方に沿って、必要な許諾を取得してください。Psychometric properties は信頼性と妥当性から構成されます。複数項目からなる測度については、因子構造と測定不変性のデータがあれば明記してください。

一定の領域（例：抑うつ状態）について多数の尺度が存在する場合は、なぜある尺度を選んだのかの根拠を明示してください。多くの研究で使用されているからという記載は根拠として不十分です。

対象と方法：統計解析

予定数のケースについてデータが収集されたのちに行う統計解析の手法について具体的に記載してください。交絡変数、介在変数、調整変数を考慮した研究デザインであれば共分散構造分析 (structural equation modelling: SEM) による統計解析は多くの場合、不可欠です。SEM の様々な技法のうち、何を用いるのかを明示してください。わかりやすいパス図をつけることは推奨できる方法です。必要に応じて項目反応理論や taxometrics を用いた解析も必要になるでしょう。研究仮説と統計解析の間の整合性は、応募審査の重要ポイントのひとつです。「多変量解析を行う」といった表現は不十分です。

質的研究

各ケースの特徴を数量でなく、いわばナラティブで記載してゆくのが質的研究です。当財団の研究助成は質的研究にも付与されます。

質的研究の原点は臨床現場や日常生活での観察です。あるいは研究者自身の個人的体験かもしれません。研究計画書では、こうした研究の原点をまず分かりやすく記載してください。次に必要なのが理論的考察です。どの分野でも（研究者が気付いていなくとも）豊富な先行研究が存在します。それを渉猟する必要があります。十分な先行研究の確認が必須です。当該領域で使われている用語に精通してください。その上で、自身の理論的仮説を構築します。その仮説の正否を確認するための、少数例であるが深い面接を行います。深い面接ですから、15分や30分では済まないはずです。研究者の「ひらめき」が要求される部分です。「ひらめき」が得られないなら、得られるまで先行研究を読み込むことがお勧めです。

さらに質的研究では心理面接の手法に長けている必要があります。多くのテーマは被検者の心的外傷体験にかかわるものです。これまでに質的研究や心理療法を全く行

ったことのない方は、まずは心理面接の研修を受けられることをお勧めします。当財団も通年の研修会を開催しています。

質的研究データの統合は機械式のものではありません。よく行われる grounded theory approach を行えばすべてうまくいくものではありません。どのような優秀なマシンでも、入れる原材料がゴミであれば出てくる結果もまたゴミです。専門家の意見を聞いて統合するという方法の研究は、当財団の研究助成にはなじみません。いわゆるメタ解析については、これまでほとんど扱われてこなかった課題である必要があります。

文献

これまでの記載で挙げた文献をすべて文献欄に記載します。文献の記載方法はすべて American Psychological Association (APA) の Publication Manual (7th edition) に準拠します。なお、活字は Times New Roman とし、12 point で記載してください。APA スタイル以外の引用方法も可としますが、統一のあるものにしてください。特に punctuation についてご注意ください。不正確・不均一な文献引用は訴求力を減弱させます。引用文献数に上限を設けません。

発表助成

発表助成は、研究成果を国際誌に発表するための出版費用を助成します。ここには外国語校正費、雑誌掲載費（いわゆる article processing charge: APC）を含みます。国内外の学会の発表・講演の費用（旅費・宿泊費）は対象ではありません。国内外の学会の発表には当財団研究費を充当してはいけません。学会発表は、学会発表には専門誌にあるような impact factor もなく、研究者の h 指標にも寄与しないからです。

【参考】h 指標：「発表した論文のうち、被引用数が h 回以上ある論文が h 本以上ある場合、これを満たす数値 h がその研究者の h-index」と定義されています。研究者の研究の量と質の双方を入れ込んだ指標といえます。

「研究アイデア・計画作成助成」を受け研究を実施した方や、「研究助成」を受けた方が十分な成果を出しても、近年の国際誌はオープン雑誌が多く、高額 of APC が設定されており、若手研究者の投稿が困難になっています。当財団の「研究アイデア・計画作成助成」や「研究助成」の受領の有無にかかわらず、ご応募ください。

申請書には、研究の結果がわかる記載をお願いします。わかりやすい要旨や図表も歓迎です。差し支えなければ、投稿しようとしている論文原稿そのものを提示していただくのも歓迎です。

申請にあたって、予定されている投稿先候補とその APC の概算額もお示しください。もちろん、投稿先は第 1 候補、第 2 候補があつて当然です。APC はその時の為替レートで上下します。予定以下の APC であった場合、残金は当財団にご返金いただきます。なお、APC が助成された研究費を超える場合、差額は研究者ご自身の負担とします。

その他

不明の点は当財団事務局にメールでお問合せください。当財団の活動についてはホームページに掲載し、改定を行います。